

— 社会福祉法人 十善会 十善会病院広報誌 —

じゅうぜん通信

特別号

2021年5月発行

ご自由にお持ち帰りください

[特集]
2021年6月4日一般診療開始
新しい十善会が
はじまります!



十善会新病院外観イメージ

[CONTENTS]

- P1 小川理事長ごあいさつ
- P2 十善会 創立70周年記念式典
- P3 笠院長ごあいさつ
- P4 籠町の思い出写真
- P5 新病院のご紹介



社会福祉法人 十善会
十善会病院



「じゅうぜん通信」はWEBサイトでもご覧いただけます
<https://juzenkai-hospital.or.jp/>

お知らせ

十善会病院移転に伴う 外来診療についてのご案内

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、周知の通り、**2021年6月1日（火）**に病院を
淵町に移転させて頂く事となりました。これを機に
職員一同、気持ちを新たに、より一層地域医療に貢
献する所存でございます。今後とも、倍旧のお引き
立てを賜りますようお願い申し上げます。
移転に伴い、**一般外来診療は2021年5月28（金）**
で終了となります。5月29日（土）以降は、現在地（籠
町）での診察はお受け出来ません。
何卒ご了承くださいませ。
なお、新病院（淵町）での一般外来診療の開始は
2021年6月4日（金）となります。どうぞよろしく
お願い申し上げます。

現在の十善会病院前にて集合写真！



十善会病院の基本理念

社会福祉法人病院として、地域に密着した医療を
行ってきた歴史を守り「救急から在宅まで」を目
標に、患者さんが満足し、職員も満足する病院づ
くりを実現することにより地域住民の保健・医療
・福祉の向上に貢献する。

[新病院マップ]



新病院への交通アクセス

- 【バスでお越しの場合】
淵町バス停から徒歩1分（100m）
- 【路面電車でお越しの場合】
茂里町電停から徒歩約11分（800m）
- 【大波止ターミナルからお越しの場合】
タクシーで約9分（2.7km）

社会福祉法人 十善会
十善会病院

新しい連絡先

TEL.095-864-0085 FAX.095-801-2715



移転に向けて

理事長 小川 繁晴

薫風のみぎり、皆様におかれましてはご健勝にてお過ごしのことと存じます。新病院の建築は2021年3月31日にて完了し、現在は6月1日の移転に向けてCTやMRIなど医療機器の設置、備品の調整等を行っております。十善会病院の病院機能、検診部門や在宅支援部門のすべての機能が淵町の新病院に移転することになります。

診療部門の構成につきましては変更の予定はありません。現在の病院には駐車場がなく不便をおかけしておりましたが、新病院には患者様用の約100台分に加えて職員用駐車場も確保できております。外来や病棟もアメニティの高い病院になっているものと自負しております。

新型コロナウイルスはいまだ収束の気配なく、第4波への懸念が強くなっています。感染力の強い変異株の増加も危惧されます。残念ながら十善会病院においてもクラスターが発生してしまい、多大なご迷惑をかけてしまいました。改めてお詫び申し上げます。

今後はさらに感染予防に注力してまいります。医療従事者へのワクチン接種は進行中ですが、国民全般への接種により流行に抑制がかかることを祈るばかりです。

さて十善会病院は約146年の歴史を十善寺地区において育んでまいりました。その間には数回の組織や名称の変更を経て現在に至っています。

地域の皆様のご厚意に支えられた146年であり、深く感謝しております。この地で培った伝統を絶やさぬよう移転地においても努力を傾注する所存であります。今後とも同様のご支援のほどよろしく申し上げます。



現在の十善会病院



新しい十善会病院

社会福祉法人十善会

70周年 記念式典

70th anniversary

REPORT

十善会創立70周年
記念式典を開催致しました。

令和3年4月23日(金)16:00より十善会病院講堂にて
社会福祉法人十善会創立70周年記念式典を開催致しました。



僕の龍町物語

かごまち



病院長 笠伸年



昭和55年、長崎大学に入学し長崎での生活を始めた頃の移動手段は専ら路面電車でした。バスは行先を見ても場所の見当がつかず怖くて乗れない、また家用車も持たない学生ですから、路線図がシンプルでどこまで乗っても均一料金（当時は60円）の長崎電気軌道が頼りでした。従って学生時代の6年間は電停から離れた場所に足を踏み入れることは殆どありませんでした。たまには街で飲もうかと友人と思案橋電停で降りても、入るお店はせいぜい福砂屋本店辺りまでの飲み屋で、その奥に垣間見える妖しい魅力は放つネオンの連なりは学生の自分には物凄く敷居が高く近寄り難い雰囲気でした。まさか更にその奥に救急病院が

あろうとは当時は夢にも思っていませんでした。医者になって何回かは十善会病院に来たことがありましたが平成5年8月に常勤として赴任してから龍町の医者生活が本格的に始まりました。脳神経外科専門医に成り立ての33歳でした。専門医といってもロクに手術が出来る訳でもなく、先輩に教えられ叱られながら、懸命にがむしゃらに手術や診療をしました。クモ膜下出血の患者さんに初めて自分で脳動脈瘤頸部クリッピング術を行なったのも十善会病院でした。あの頃の救えなかった症例、うまく行かなかった患者さんなど今でも時々思い出されます。当時はまだ市民病院（現在の長崎みなとメディカルセンター）や済生会病院に脳神経外科が無く、引っこ無しに急患が来ていました。昼夜を問わず働いて、空いた時間を見つけては銅座、思案橋に飲みに行きました。当時の上司は夕方4時までに奥様に「今日は家に帰って御飯を食べる」と連絡しなければ夕食を作ってもらえなかったもので、手術の後は（手術が無くて）大体いつも「おい、行くぞ」と飲み

屋に付き合わされました。もちろん喜んでお伴しました。心も身体も疲れたときは一人歩きつけのお店で癒されました。平成8年までの3年間は若さ、体力にまかせて精一杯飲んで仕事をしました。それが出来たのも龍町の、十善会病院の立地の成せる技でした。長崎大学病院に5年間勤務した後、平成13年6月に3代目脳神経外科部長として再度赴任しました。増改築がなされ大きく変わった建物構造、急性期リハビリの徹底、チーム医療など様変わりした医療に少し戸惑いました。大学では小児脳神経外科、機能的脳神経外科を担当していたので当院の症例の大多数を占める脳卒中や外傷に対してはブランクがあり周囲に迷惑をかけたかも知れませんが、先輩、同僚、部下、職員の方々に助けられながら何とか頑張りました。相変らず頻回に飲みに言っただけの酒の失敗、逸話もたくさん作りました。おくんちで龍町が踊り町の時とは病院玄関前で披露された龍踊りの迫力に圧倒され、また病院の中まで龍が入って来てくれた時は感動しました。長崎の冬の風物詩と

なったランタンフェスティバルの期間中は凄じい混雑に迷惑顔をしながらも異国情緒とランタングルメを楽しみました。脳外科医になって35年、その内の23年間を十善会病院で過ごしました。約7割弱を占めています。沢山の症例を経験させてもらいました。脳外科医として人間としてどれほど成長したのかは判りませんがこの地で多くの人に教えられ、支えられ、助けられて今の私があるのは紛れもない事実です。「脳神経外科医、笠伸年の7割以上は龍町、十善会病院で出来ている」と言っても過言では無いでしょう。慣れ親しんだ龍町、長崎情緒溢れるこの界隈を離れることは寂しい限りですが、この地で育んでいただき23年間で培ったものを今後は長崎の皆さんにお返しすべく、少しでも長崎の救急医療に貢献できるよう新天地で頑張る所存です。長い間大変お世話になり有難うございました。



Thank you for everything!

龍町の思い出写真



病院



正面玄関

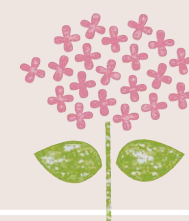


病院の外観



こちらの看板は新病院にお引っ越し

十善会の看護師さん



お祭り



長崎くんち



長崎ランタンフェスティバル

ソフトボール大会



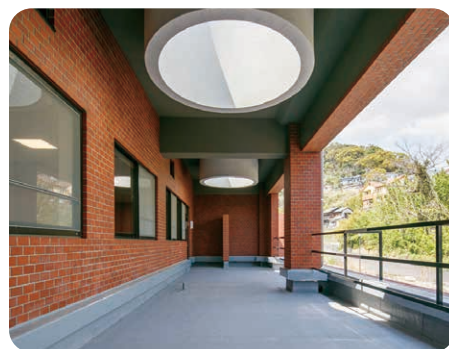


※外観イメージパース

新しい 十善会が はじまります。

2021年6月4日より
一般診療開始！

この度、病院の老朽化等やむを得ない諸事情のため、
2021年6月1日（火）に淵町（旧成人病センター跡地）へ
新築移転します。更なる質の高い医療の提供及び患者サービス
向上を目指して、新しい十善会病院がはじまります。
今後も地域の皆様に必要とされる病院であり続けられますよう
に精進してまいります。どうぞ宜しくお願い申し上げます。



外来棟

1F



総合受付窓口



外来診療

2F



手術室

B1



調理室



入院棟

入院棟

6F



スタッフステーション

6F

病室

5F

病室

4F

病室

3F

病室

外来棟

放射線部 リハビリ室
医局・管理部
健康管理センター

手術部
CT・MRI

2F



病室

1F

外 来 薬剤部
生理検査室 救急

B1

栄養部
管理部